

岸保賞の副賞メダル図案の公募

日本気象学会は、故岸保勘三郎先生のご功績を称え、永く後世にそのお名前を残すため、ご家族からのご寄付を基に、2014年度に岸保賞を創設することとしました。岸保先生が特に数値予報の発展に大きく貢献されたことに鑑み、気象学及び気象技術の発展・向上を通して社会に多大なる貢献をした個人または団体に対して顕彰することにいたしました。それに伴い、副賞としてメダルを贈呈することが決まり、ここに、メダルの図案を広く公募することになりました。

次頁に日本気象学会メダル一覧を示します。従来、藤原賞や山本・正野賞の副賞としていた直径110 mmのメダルを作れる職人がいなくなったことから、今後製作するメダルの直径は岸保賞も含めて80 mmといたします。各賞のメダルの図案はそれぞれ、学会賞は太陽と雲、藤原賞は渦、山本・正野論文賞は富士山と雲、堀内賞は太陽、奨励賞は雪と雷となっています。

岸保賞のメダルにも岸保勘三郎先生の業績にちなんだ図案のアイデアが望まれます。採用作品には薄謝を贈呈します。

応募に際しては、実物大の円形の中に白黒のコントラスト付きの図案を描き、必要な添え書きとともに、日本気象学会事務局宛（〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内）に11月15日までに郵送して下さい。

なお、参考までに、岸保勘三郎先生は1953年に米国のプリンストン高等研究所に招聘され、Jule Charney博士らと共に数値天気予報開発の進歩に貢献されました。帰国後は、気象庁にて数値天気予報の発展と実用化に、また東京大学において日本の気象学の発展と後進の育成に大きく尽力されました。著書に「数値予報新講」などがあります。天気58巻（2011年）12号に追悼文が掲載されています。



学会賞

直径：80 mm

材質：銅（太陽：金／雲：銀）

表面：太陽と雲

裏面：贈／氏名／西暦



藤原賞

直径：110 mm

材質：銅，銀いぶし（賞：金／咲平：銀）

表面：渦

裏面：藤原賞／贈／氏名／日本気象学会／西暦



山本・正野論文賞

直径：110 mm

材質：銅，銀いぶし（賞：金／富士山：銀）

表面：富士山と雲

裏面：山本・正野論文賞／贈／氏名／日本気象学会／西暦



堀内賞

直径：80 mm

材質：銅，銀いぶし

表面：太陽

裏面：贈／氏名／日本気象学会／西暦



奨励賞

直径：80 mm

材質：銅，銀いぶし（賞・稲妻：金／雪：銀）

表面：稲妻と雪

裏面：奨励賞／贈／氏名／日本気象学会／西暦